

KEIZAIREN 情報10

● 2020.10 ● NO.1273

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

宮農事業4部門と連携し、生産から販売までを担う 「生産振興開発課」



ぶどう果実品評会



野菜の日でイベント実施



Go To トラベルキャンペーンで静岡そだちを味わう

Main topics

宮農事業4部門と連携し、生産から販売までを担う
「生産振興開発課」 01

topics&news

- 全国の良質茶出揃う
第74回全国茶品評会 03
- 茶生産の課題解決に向けて
複合経営と茶転換作物についての意見交換会を開催 03
- Go To トラベルキャンペーン
静岡そだちを味わう宿泊プラン 04
- 県産ぶどうの品質向上を
第42回ぶどう果実品評会 04
- ミニ野菜をTVで紹介
「ごちそうカントリー」番組収録、放映 05
- 駿府の肉処「静岡そだち」で県産野菜をPR
野菜の日でイベント開催 05
- 地域住民に愛されるSSを目指して
地元のこども園にマスク寄贈 05

宮農支援だより

いちご栽培を考える 06

最新研究紹介 農林技術研究所だより

カーネーションにおける
冬季夜温管理「日没後昇温」の增收効果 07

お知らせ

- 建設部からのINFORMATION 09
- あぐりんく静岡からのお知らせ 09
- JAタウン しづおか「手しお屋」のオススメ商品 10
- テレビ番組「しづおかごはんが食べたい!」のご紹介 10

Main topics

「生産振興開発課」

I はじめに

本会は、令和2年度の機構改編に伴い、新たな課を6課誕生させました。その中のひとつ、これまでの販売事業と購買事業という枠組みから、新たに営農事業4部門と連携する、新しい取組みを始め、その推進役として生産振興開発課を新設しました。

食糧、畜産の6部門が活動し、個々に事業推進を行なっています。しかし、農業を取り巻く情勢は変化が激しく、営農事業関係の各部署が連携し、速やかに対応できる体制が求められるようになりました。そこで、これら営農事業の内4部門との連携を強化し、総合的な対応を進める組織を、生産振興開発課が担うことになりました。

生産振興開発課は、昨年度まで営農販売企画部の農業振興課に属していました。そこで、これまでの業務を広く進めると共に、新たに営農4部門間連携事業の効果的な推進役を担います。ここでは主に次の事業を行います。

1 新規重点事項

(1) 営農4部門間連携事業の推進の企画運営

これは、農業や食の高度化や効率化へのアイデア、地域活性化につながる革新的なアイデア等に注力した技術を持つ企業の成長を支援し、新たなビジネスサービスにつなげるプログラムを、地域で企画し運営する事業です。

2 年間取組事項

- (1) 産地技術課題解決研究会の運営
- (2) 食の安全・安心
- (3) 営農情報の提供
- (4) 営農関係人材育成、JA営農経済職員の資質向上
- (5) 大口農家・農業法人対応

IV 営農4部門間連携事業の推進

本年度、各営農経済部門が協力し、問題解決に取り組む体制づくりを進



▲複合経営並びに茶転換作物の意見交換会

め、より効率的で質の高い事業推進を行なうことを目的として、新たに運営組織体制「営農4部門間連携会議」を組みました。

(1) 体制

営農4部門間連携会議（課長会議）

下部組織に課題別専門調査チームを置き実態調査を実施する。

(2) 構成

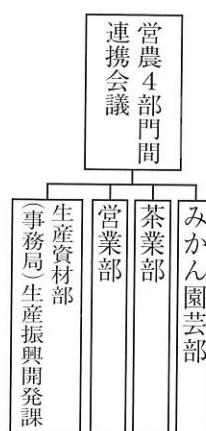
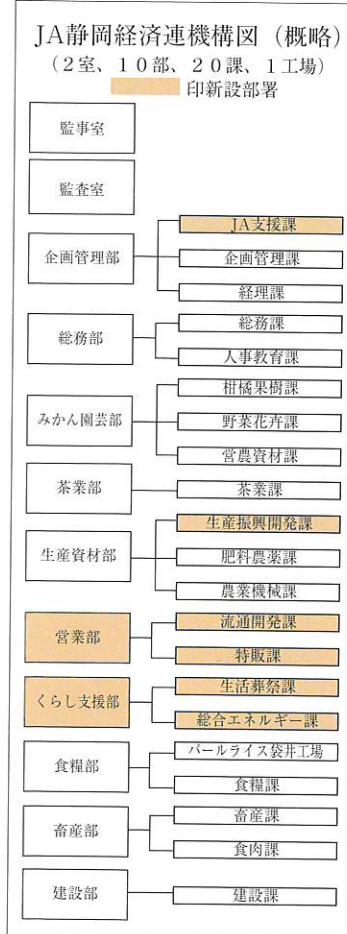
- | | |
|-------|-------|
| 野菜花卉課 | 柑橘果樹課 |
| 営農資材課 | 茶業課 |
| 特販課 | 肥料農薬課 |
| 農業機械課 | |

(3) 課題

- | |
|---|
| 本年度においては、「静岡県下JA茶生産振興担当者による複合経営並びに茶転換作物についての意見交換会」を発足運営し、事例研究等を実施します。 |
|---|

II 新たな組織

本会では、営農事業部門として、みかん園芸、茶業、営業、生産資材、



III 生産振興開発課の事業

め、より効率的で質の高い事業推進を行なうことを目的として、新たに運営組織体制「営農4部門間連携会議」を組みました。

(1) 体制

(2) 構成

営農4部門間連携会議（課長会議）

下部組織に課題別専門調査チームを置き実態調査を実施する。

(3) 課題

- | | |
|-------|-------|
| 野菜花卉課 | 柑橘果樹課 |
| 営農資材課 | 茶業課 |
| 特販課 | 肥料農薬課 |
| 農業機械課 | |

(4) 課題

- | |
|---|
| 本年度においては、「静岡県下JA茶生産振興担当者による複合経営並びに茶転換作物についての意見交換会」を発足運営し、事例研究等を実施します。 |
|---|

(5) 課題

- | |
|---|
| 本年度においては、「静岡県下JA茶生産振興担当者による複合経営並びに茶転換作物についての意見交換会」を発足運営し、事例研究等を実施します。 |
|---|

Main topics

十
宮
手
の
育
成
よ
る
担
い
大
に
路
拡
立
及
び
販
賣
（
JA
富
士
宮
）



▲三方原馬鈴薯品種検討(試食会)

表1 安全分析センター実績

分析の種類	分析内容	令和元年度	平成30年度
残留農薬	多成分一斉分析	364	385
	単成分分析	118	179
カビ毒	デオキシニバレノール(DON)	17	20
栄養成分等	栄養表示項目、アミノ酸等	48	55
放射能	セシウム 134、137	4	15
合計		551	654



▲あぐりんく静岡ホームページ



▲新任・新人営農経済涉外(TAC)基礎研修会



▲生産振興開発課

① 富士宮
② 富士宮
③ 富士宮
④ 富士宮

技術課題4課題

- (1) 栽培技術、栽培体系の現場実証と県下JAへの普及支援
- (2) 産地が抱える課題を解決するため、静岡県産地技術課題解決研究会を運営し、JA當農指導員や農業者への技術支援に取り組みました。令和元年度は、4つの課題による支援事業を行いました。
- (3) I-P-M（総合的病害虫管理・雑草管理）の普及推進と人材育成
- (4) コンサルタント会議の運営

V 産地技術課題解決 研究会の運営

- (3) 三方原バレイショの新品種及び栽培技術導入（三方原馬鈴薯共販運営委員会）
- (4) 酒造好適米「誉富士」の安定栽培技術及び多収穫品種栽培技術の確立と担い手への普及（JA當農技術員会耕種部会）

VI 食の安全・安心

- (1) 安全・安心啓発活動
- (2) 安全分析センターの運営
- (3) GAP普及推進 JAからの依頼物、ファーマーズマーケット出荷物等について、残留農薬分析を実施し、計画的な安全分析への取り組みを行っています。昨年度と一昨年度の実績は表1のとおりです。
- (4) 農薬の安全使用

VII 営農情報の提供

- (1) 営農ナビ「あぐりんく」の運営
- (2) 営農情報の提供とタブレット端末を活用した営農指導事業への取組み

VIII JA営農経済職員の資質向上

- (1) 出向く体制強化
 - (2) 県域営農経済渉外連絡協議会の運営
 - (3) 営農経済事業初任者研修会
 - (4) 営農経済センター長管理者研修会
 - (5) 営農経済事業パワーアップ大会の開催
 - (6) 大口農家・農業法人対応
- ※(4)(5)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により本年度の実施は未定

IX おわりに

昨今の情勢は、異常気象、コロナ禍等多大な影響を受けて、農業の先行きも見えない状況ではありますが、販売、購買事業の各部門と連携をとりながら苦境を乗り越えて、将来の営農を担えるよう頑張りますので、一層のご支援をいただきたくお願いいたします。

窓口 JA静岡経済連 生産振興開発課
住所 静岡市駿河区曲金3丁目8番1号
電話番号 054-(284)9729



▲営農経済事業パワーアップ大会

全国の良質茶出揃う

第74回全国茶品評会



8月25日から4日間、鹿児島県鹿児島市のオロシティホールで、鹿児島県が開催県となり、「第74回全国茶品評会（主催・全国茶生産団体連合会）」を開き、16都府県の茶産地から7茶種8部門に合計987点が出品されました。同審査会は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門の角川修茶業研究監を審査長として各府県茶業研究機関職員等19人の審査員により行いました。産地賞については、8部門内の普通煎茶4キロ、深蒸し煎茶の2部門で静岡県内の産地が第一位となりました。産地賞、特別賞の本県の上位入賞者は次のとおり（敬称略・カッコ内は産地所在地名）。

● 産地賞（団体）	
○普通煎茶4kgの部	1位 川根本町
○深蒸し煎茶の部	1位 掛川市
○掛川市	2位 菊川市
○牧之原市	3位 牧之原市
● 特別賞（個人）	
○普通煎茶4kgの部	1位 相藤農園 相藤直紀（川根本町）
○川根本町	2位 川崎好和（川根本町）
○茶工房豊香園 細川豊（静岡市）	3位 相藤園 相藤令治（川根本町）
○天竜茶研究会 清水友久（浜松市）	4位 天竜茶研究会 清水友久（浜松市）
○普通煎茶10kgの部	5位 丹野園 丹野浩之（川根本町）
○丹野園	6位 丹野浩之（川根本町）
○深蒸し煎茶の部	
○農業生産法人東山茶業組合 研究部会（掛川市）	1位 農業生産法人東山茶業組合 副工場長 永井広紀（掛川市）
○河原崎剛太（御前崎市）	2位 (有)マルタケ製茶 河原崎剛太（御前崎市）
○農事組合法人東山東茶業組合 代表理事 平井寿博（掛川市）	3位 農事組合法人東山茶業組合 代表理事 杉山裕朗（掛川市）
○青羽根製茶生産組合 代表取締役 木下宗治（掛川市）	4位 農事組合法人東山東茶業組合 代表理事 平井寿博（掛川市）
○かぶせ茶の部	5位 農事組合法人東山茶業組合 代表理事 杉山裕朗（掛川市）
○青羽根製茶生産組合 代表取締役 木下宗治（掛川市）	6位 農事組合法人東山茶業組合 代表理事 平井寿博（掛川市）
○かぶせ茶の部	3位 青羽根製茶生産組合 代表取締役 木下宗治（掛川市）
○茶工房たくみ 組合長 澤田東介（藤枝市）	

複合経営と茶転換作物についての意見交換会を開催

茶生産の課題解決に向けて

8月28日、生産振興開発課は、県農業会館で、静岡県下茶生産振興担当者による複合経営並びに茶転換作物についての意見交換会を開き、県内10JAと本会担当者らおよそ40人が参加しました。本県JAグループ内で茶生産者の複合経営や茶転換についての課題や認識を共有すること目的で、今回初めての開催となりました。

意見交換会に先立ち、本会より茶業情勢の報告（茶業課）、茶園からみかんへの転換（柑橘果樹課）、野菜との複合経営（野菜花卉課）、茶園の土壤改良（肥料農薬課）等について説明しました。次いで意見交換が行われ、出席したJA担当者からは複合経営で生産される農産物や転換作物の販路、抜根のための農機、肥料・農薬等について具体的な質問や意見が挙げられました。

意見交換会を主催した生産振興開発課の中野信明課長は「今回の意見交換会を通じ複合経営や茶転換について関係者間での認識の共有ができた。JAと本会とが一体となつて課題を解決する必要性を感じた。今後は複合経営や茶転換を希望するJAと個別に対応したい」と抱負を語りました。



GO-T-Oトラベルキャンペーン 静岡そだちを味わう宿泊プラン

本会直営店「駿府の肉処 静岡そだち」は、静岡市葵区にある静岡北ワシントンホテルプラザと協力して、特選和牛静岡そだちを味わう宿泊プランを提供しています。同プランの宿泊客は同店で、希少部位の焼肉のほか静岡そだちのローストビーフや金豚王のローストポークなど計10品の夕食を味えます。

本プランは、国内観光の需要喚起を目的に実施されている「GO-T-Oトラベルキャンペーン」の対象となつており、同ホテル公式サイト等から宿泊の予約を受け付けています。受付期間はGO-T-Oトラベルキャンペーン終了までを予定しています。直営店を運営する流通開発課は、「今後も同ホテルと協力して県産食材を味わえるプランを継続して提供したい。県内の方もぜひ同プランで宿泊をし、静岡の魅力を再発見してほしい」とPRしました。宿泊についての問い合わせは静岡北ワシントンホテルプラザ（TEL：054-1221-10111）、本会直営焼肉店については駿府の肉処「静岡そだち」（TEL：054-1251-4129）まで。



同プランで提供される料理



静岡北ワシントンホテルプラザ

第42回ぶどう品評会 県産ぶどうの品質向上を

8月24日、静岡県落葉果樹振興協会（事務局・柑橘果樹課）は、浜松市のJAとびあ浜松湖北営農センターで第42回ぶどう果実品評会を開きました。県産ぶどうの品質改善と生産者の技術向上を図り、産地を維持することが目的。

品種はピオーネで、出品点数は13点でした。静岡県果樹研究センター果樹加工技術科の平井靖巳科長が審査長を務め、静岡県職員ら審査員7人が、房形や房ぞろい、果実の大きさなどの外観、肉質や食味などの内容を審査しました。

出品物の平均糖度は18.5度、最高糖度は20.4度でした。
上位入賞者は次のとおり（敬称略、カッコ内はJA名）

金賞	松本一夫	（とびあ浜松）
銀賞1	宮司重夫	（とびあ浜松）
銀賞2	山本芳伸	（とびあ浜松）
銅賞	小出哲雄	（とびあ浜松）
二橋	誠	（とびあ浜松）



ミニ野菜をTVで紹介

「じちそうカントリー」番組収録、放映

8月2日、静岡第一テレビで放映中の「じちそうカントリー」で、浜松市の京丸園株のミニ野菜を紹介しました。新型コロナウイルス感染拡大による飲食店の営業自粛などの影響を受けて、ミニ野菜の家庭向け消費の喚起と同社の取り組みを紹介することが目的。

番組制作のため本会（企画管理課・野菜花卉課）はミニ野菜を生産する京丸園株（ＪＡとぴあ浜松）のハウスを訪ね、鈴木厚志代表取締役社長のインタビュー等の取材協力をしました。

リポーターはミニ野菜の種類や栽培



方法等の紹介をし、実際に収穫体験を行いました。また同社の取り組みとして、JGAP認証の取得や、ユニバーサル農業への取り組み等も紹介しました。

「おいしいをつくりましょ」のコーナーではミニ野菜を使った料理「ミニちゃんげんの冷しゃぶ」と「姫三つ葉と姫ねぎの彩りサラダ」を紹介し、ミニ野菜が簡単に料理に使えることや料理に彩りを添えることをPRしました。

9月2日、野菜花卉課と流通開発課は、本会直営の焼肉店「駿府の肉処 静岡そだち」で、野菜の日（8月31日）に伴い、県産野菜の消費イベントを開催しました。同イベントでは京丸園株のミニ野菜のPRを行いました。

イベントでは、「ミニちゃんげん」をナムルとして、「姫ねぎ」と「姫みつば」を料理に添えて、来店したお客様へ提供しました。来店客は、特選和牛「静岡そだち」と一緒にミニ野菜を味わい、県産野菜を楽しみました。



ミニちゃんげんのナムル(右)と姫ねぎと姫みつば(左)

野菜の日でイベント開催

駿府の肉処「静岡そだち」で県産野菜をPR

地域住民に愛されるSSSを目指して
地元のこども園にマスク寄贈

9月2日、JASSI-PORT高部（ジェイエイエイ静岡燃料サービス株）は、静岡市立高部中央こども園（静岡市清水区）でマスクの贈呈式を行いました。新型コロナウイルスの影響によりマスク不足で困っていることを同園から聞いたSSSスタッフが、少しでも地元の役に立ちたいと思い企画しました。贈呈したマスクは、SSSの洗車利用客に寄付を呼びかけたもので、6月から8月までの期間でおよそ200枚集まりました。

SSSスタッフを代表して、山本拓郎サブマネージャーがマスク贈呈をおこないました。山本サブマネージャーは「地元のJASSI-SSSづくりに励みたい」と話しました。



営農支援だより

作物・産地・営農・技術・
資材などの情報を届けします。

いちご栽培を考える

いちご育苗環境を考える

いちごの栽培で最も重要なものが、昔から「苗八分作」などと言われているように、育苗が重要です。

今年のいちご、育苗期の気象を考えると、梅雨時期の曇天・長雨の影響は非常に厳しいものがありました。7月の日射量・日照時間ともに低く、雨量は多く特に露地育苗の生産者の方々は防除も思うようにできなかつたと思います。

反面、雨除け施設での育苗は風通しの悪い施設が目立ちました。

いちご育苗で重要な「炭そ病」の回避、炭そ病は高温・多湿条件で菌が活発に繁殖するためそのような条件をクリアする必要があります。

解消方法としての提案になりますが、
①露地での育苗から雨除け施設下での育苗にして、曇雨天日でも防除できるよう
うな体制に
②雨除け施設での改善は、風通しの悪い施設対策、妻面ビニールとサイドのビニールができるだけ広く開けて施設内の蒸れを防ぎましょう。
③十分な育苗スペースを確保する
④親株の本数を増やす
⑤親株1本からの採苗数を10～25本程度とする

- ⑥最終ポット受けから切り離しまでの期間を最低20日設ける
⑦切り離し日安を8月上旬、遅くとも8月中旬までに終了する

いちごの栽培で最も必要なことは育苗設置が容易なこととCO₂測定器の校正ができるところが優れています。

環境モニタリング

生産技術の平準化に向けた取り組みとして、ハウス内の環境モニタリングの推進を図っています。

環境モニタリング機器「はかる蔵」は気温・湿度・地温・CO₂・照度・日射量の測定をし、ハウス内が自分の求めている環境になつていてか?他の生産者との比較でどこを改善すればよいのか?などを30秒ごとに測定しクラウドにデータを蓄積していきます。

ハウス内環境も感覚ではなく、「ハウス内の見える化」しつかり測定し自分が求めているハウス内環境を整えるようにしましょう。

（みかん園芸部 野菜花卉課 技術コンサルタント 湿美 忠行）



図-1 露地育苗圃の様子(天候に左右されやすい)



図-2 雨除け施設での育苗(定期的の防除が可能)



図-3 環境モニタリング機械「はかる蔵」

カーネーションにおける 冬季夜温管理「日没後昇温」の增收効果

一 はじめに

近年国内におけるカーネーション栽培は、ほとんどがビニールハウスやガラス温室等の施設内で行われており、県内では冬季夜温を11℃～13℃程度に一定で維持する管理が一般的に行われています。しかし、暖房コストをはじめとする生産コストは増加する傾向にあり、収量の増加がコスト低減など収益性維持に向けた対策が求められています。そこで当所では、燃油を効率的に利用し収益向上を目指すカーネーションの冬季夜温管理モデル「日没後昇温」の研究開発に取り組みました。今回は、研究所内の小温室での成果と生産者の温室での実証結果について紹介します。

二 カーネーションの 冬季夜温に関する研究

(一) 研究の背景
2010年頃から、マリー・ゴール

ドヤキクで、日没後に短時間、温度を上げて管理する処理が開花を早める効果があることが明らかになりました。そこで、カーネーションにおいても、冬季に日没後、短時間温度を上げる管理が生育に与える影響を検討し、効率的な夜温管理方法の開発を試みました。

(二) 処理温度の検討

当センターで先に行われた研究で、「カーネーションでの生産性や品質の面から見た好適夜温は10～15℃」であつたことから、これを超える17℃に短時間昇温させる設定としました。

(三) 昇温時間帯と処理時間

昇温方法の違いがカーネーションの開花特性に与える影響を明らかにした。今回は、研究所内の小温室での成果と生産者の温室での実証結果について紹介します。

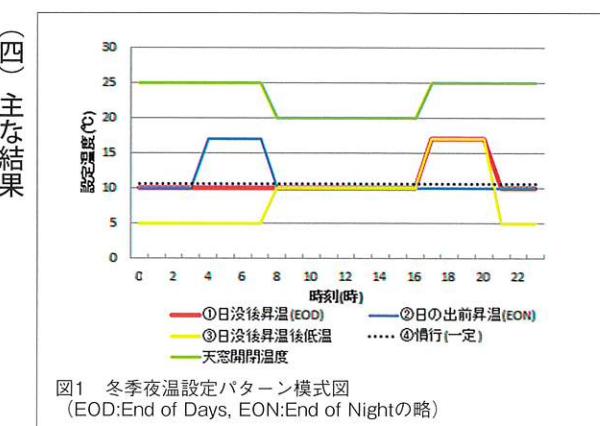


図1 冬季夜温設定パターン模式図
(EOD:End of Days, EON:End of Nightの略)

(四) 主な結果

供試した2品種とも採花本数は①EOD②EONで④慣行と比較して1.5本／株以上増加しました(表1)。③EOD-低温でも增收したもの、その程度はEODやEONより劣りました。更に切り花品質を見ると、②EONは切り花重の減少や花らい数の減少といった切り花のボリューム低下が観察されたのにに対し、①EODは切り花品質を維持した增收が可能であると考えられました。

表1 日没後または日の出前短時間昇温処理がカーネーションの時期別収穫本数と主な切り花品質に及ぼす影響

供試品種	処理区	収穫開始 ～12月 (本/株)				主な切り花品質			
		1～3月 (本/株)	4～5月 (本/株)	合計 (本/株)	一次側枝 (cm)	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	二次摘芯側枝 (cm)	切り花長 (cm)
ライトピンク バーバラ	EOD	3.0	2.4 a	3.1	8.5 a	55.4	30.3	4.8	76.0 ab
	EON	2.9	2.5 a	2.9	8.3 a	54.9	28.1	4.7	73.0 b
	EOD-低温	2.9	1.8 ab	2.9	7.6 ab	54.3	28.1	5.4	76.2 ab
	慣行	2.9	1.5 b	2.4	6.8 b	53.0	30.5	4.7	77.8 a
チューリー ティンク	EOD	2.8	1.6 a	2.8	7.2 a	56.6	25.0	6.6	79.8 ab
	EON	2.9	1.8 a	2.3	7.0 a	58.6	26.1	6.1	76.9 b
	EOD-低温	2.9	1.2 ab	2.4	6.5 ab	57.5	25.4	6.2	80.6 ab
	慣行	2.5	0.9 b	2.1	5.5 b	59.3	27.5	5.5	85.8 a
有茎性	n.s.	*	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.

(本表は「スプレーカーネーションにおける冬季夜温の研究、馬場ら2014」から引用)



静岡県農林技術研究所
伊豆農業研究センター
生育・加工技術科
上席研究員

加藤智恵美

また昇温時間については5時間以上では切り花重の低下等が見られたことから、4時間程度の昇温が適切だと考えられました（データ省略）。この他に暖房コストの試算もを行い、カーネーションの冬季夜温管理は一日没後4時間17℃に昇温し、その後朝まで10℃で管理する」モデルが、重油の使用量は増加するものの、それを上回る增收効果があり、収益改善が期待できることが明らかになりました。

三 現地での実証

【場所・面積等】	静岡県賀茂郡東伊豆町 同じ生産者が管理する隣接したハウス、各5a	 <p>供試品種 'ムーンライト'</p>	
【耕種概要】	(2018年)		
定植	6/25		
摘芯	7/14		
二次摘芯	8/28		
加温開始	11/25		
※各ハウス、以下の2つの調査をおこなった			
「分枝生育調査」11/25に地上30cmで台刈りし、その後に発生した芽の生育を調査、「切り花調査」慣行の栽培で、あらかじめ定めた株の採花本数を記録			
※循環扇は24時間稼働、朝7時に換気			
【温度設定】	7:00～17:00	17:00～21:00	21:00～7:00
EOD区	なりゆき	17℃	10℃～12℃
慣行区	なりゆき	12℃	12℃

図2 現地実証の概要

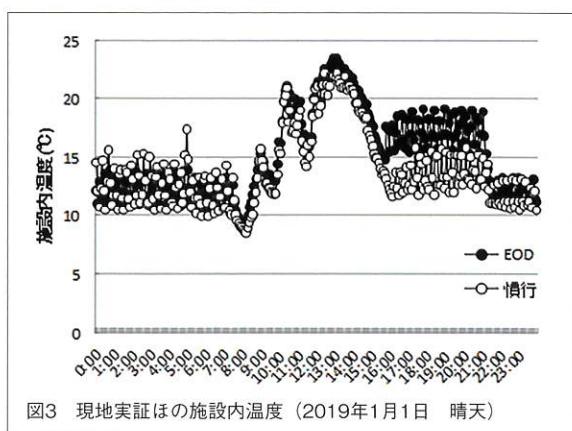


図3 現地実証ほの施設内温度（2019年1月1日 晴天）

2018年度から現地実証を開始しました。

(一) 2018年の取組
実証ほの概要は図2のとおりで、
EODと慣行のハウスを設定し、生
育開花等を調査しました。

図3は現地実証ほの暖房期間中の施設内温度の推移です。設定どおり日没後の約4時間、17°Cを中心にして15°C～19°Cで推移しており、慣行は15°C～15°Cで推移していました。

図4は11月下旬に台刈りした株から発生した分枝の3月上旬の様子です。EODでは多くの分枝で蕾が膨らみ開花が始まろうとしているのに 対し、慣行は小さなつぼみが多く、 EODの生育が早いことが伺えます

(二) 2019年の取組



図4 現地実証ほの様子（2019年3月撮影）

多く伊豆農業研究センター内の試験結果とほぼ同じとなりました。増収効果は10a当たりで3万本に相当します。

表2 カーネーションにおける日没後温度管理が販売額やコストに与える影響

	採花本数 (本/株)	販売額 (万円/10a)	重油使用量 (ℓ/10a)	重油代 (万円/10a)	出荷経費 (万円/10a)
EOD	11.1	222,000	1,110	5,960	38.7
慣行	9.3	186,000	930	3,100	20.2

(実訂ほの授業本数や重計件数は地域の平均的な授業単価と出荷経費を基に試算)

四 おわりに

今回研究から実証に取り組んだ日没後の短時間、高温に遭遇させ生育開花を促進させる手法は、キンギョソウ等他の品目でも効果が確認されており、今後多くの品目での応用が期待できます。

また、これは賀茂郡東伊豆町での結果です。地域によっては効果に差があることも想定されるため、注意が必要です。

ては前年同様E.O.Dが慣行を上回り、増収効果が確認できました。収益性に関する試算では、重油代と出荷経費で50万円程度コストが増加しますが、収穫量の増加により販売額は180万円増加することから、100万円以上の収益増加が期待できる結果でした。ただし、本年度は暖冬傾向であり、平年通りの気温であれば、重油使用量はE.O.Dでより増加し、収益増加額は小さくなる可能性があります。

(二) 2019年の取組

賀茂郡東伊豆町稻取301-2
静岡県農林技術研究所
伊豆農業研究センター
生糞・加工技術科
agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

建設部からのINFORMATION

担当 建設部 054-284-9523

J A 御殿場

資産管理事業による集合賃貸住宅の取り組み 賃貸集合住宅建設工事起工式

令和2年7月15日、御殿場市内で賃貸集合住宅建設工事の起工式が行われ、JA組合員はじめ関係者18人が出席し工事の安全を祈願しました。JA御殿場では、資産相談部と本会建設部が連携して、3年前より毎月第2・第4水曜日に全支店同時開催の相続・土地活用相談会を実施しています。今回の物件は、その相談会にて組合員より相続税対策と市街化区域内に所有する遊休地の有効活用について相談を受け、JAと本会が財産診断から遊休地の可能性について検討し事業計画を提案しま

した。計画地はJR御殿場駅の周辺に位置し、利便性や生活環境が良く借家割合も大きなエリアであり、御殿場プレミアムアウトレットの増床もあり賃貸住宅の需要が多いため、賃貸集合住宅による土地活用を行なう事となりました。この様に本会建設課ではJAグループで連携し、組合員の資産活用(土地活用・不動産売買・マイホーム等)の支援に取組んでいます。



▲完成イメージ(外観)



▲完成イメージ(エントランス)



▲起工式のようす

【 営農ナビ 】

あぐりんく静岡 からの お知らせ

県内JA限定

農業に役立つ情報が満載!!

農産物安全分析センター

分析メニュー、申込書、分析フロー(手順)を掲載しています。分析の際はコチラから!

経済連肥薬通信

更新 経済連肥薬通信10月号
経済連コンサルタントによる作物情報

柑橘果樹情報

茶園からみかん園への転換について情報を掲載しています。

イベント情報

10県セルフガソリンスタンドキャンペーン
「まごころサービスお届けしますキャンペーン」開催中
対象期間 2020年10月1日～10月31日まで
応募締切 2020年11月4日まで

●インターネットから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報や県内JAのニュースなども充実～

担当：生産資材部 生産振興開発課 (TEL 054-284-9729)

JAタウン しづおか「手しお屋」のオススメ商品

JAタウン手しお屋ショップから
この時期オススメの商品を
ご紹介します♪

JA三島函南「三島甘藷(紅あずま)」

今回は、JA三島函南から旬の味覚さつまいもをご紹介します。三島市佐野地区とその近郊で古くから盛んに生産されるさつまいもをJA三島函南では「三島甘藷」として販売しています。主な品種は「紅あずま」と「紅はるか」の2種類です。これからとの時期食べごろのが「紅あずま」で、昔ながらのホクホクした食感が特徴です。紅あずまは10月下旬から12月ころまで出荷されています。

12月から翌3月頃までしっとり・ねっとりした食感が特徴の「紅はるか」も販売します。

お試しや贈り物にオススメの2.5kg化粧箱入、ご家庭にもご贈答にもオススメの5kg、ご家庭用の大変オトクな10kg箱の3規格をご用意しております!食欲の秋、旬のさつまいもをぜひお楽しみください♪

担当:営業部 流通開発課 (TEL:054-284-9728)



▲三島甘藷(紅あずま)

規格・価格(消費税・送料込)

2.5kg化粧箱 … 2,980円

5kg箱 ……………… 3,600円

10kg出荷箱 … 5,700円

※規格・価格は変更になる場合があります。



▲JAタウンQRコード

しづおか手しお屋

検索

テレビ番組「しづおかごはんが食べたい!」のご紹介

食糧部は、協賛するテレビ番組「しづおかごはんが食べたい!」(テレビ静岡)で、県下各地のお米のPRを行っています。9月19日に放送された第3回目の番組内では、JAおおいがわの「金芽米」を紹介しました。出演者のお笑い芸人フォーリンラブ・バービーさんはリモートでの出演となりましたが、スタジオで金芽米を味わい、静岡県産米の美味しさをPRしました。また、10月3日放送の第4回目では、オードリーの春日さんがJA遠州夢咲の「夢咲コシヒカリ」を紹介しました。

次回放送は、10月17日(土)夕方5時からの放送で、JAなんすん「するがの極」を紹介します。沼津市・三島市からバービーさんが美味しい静岡県産米を味わいます。ぜひご覧ください!



担当:食糧部 食糧課 (TEL:054-284-9737)



▲第3回目の放送ではJAおおいがわ「金芽米」を紹介



▲フォーリンラブ・バービーさんはリモートで出演

11月よりスタート



ペット火葬料金表（税込み）

区分	種別	一任個別火葬	立会個別火葬
極小動物	ハムスター、インコなど	12,000円	14,000円
2kg未満	フェレット、モルモットなど	15,000円	17,000円
2kg～5kg未満	猫、うさぎ、マルチーズなど	18,000円	20,000円
5kg～10kg未満	ミニチュアダックス、トイプードルなど	21,000円	23,000円
10kg～15kg未満	柴犬、コーギーなど	24,000円	26,000円
15kg～20kg未満	シェルティ、紀州犬など	28,000円	30,000円
20kg～25kg未満	ブルドッグ、ダルメシアンなど	32,000円	34,000円
25kg～30kg未満	ゴールデンレトリバー、ハスキー、ボーダーコリーなど	36,000円	38,000円

※上記金額には骨壺が含まれます。その他棺等は別途料金になります。※上記金額は諸般の事情により変更になる場合がございます。
※一部地域については、別途交通費を頂戴致します。

一任個別火葬プラン

個別火葬+ご返骨

ご自宅にお伺いし、個別火葬いたします。終了後はスタッフが拾骨を執り行い、骨壺・骨袋に納めてお返しいたします。



立会個別火葬プラン

個別火葬+ご拾骨+ご返骨

ご自宅にお伺いし、個別火葬いたします。終了後はお集まりの皆様でご拾骨して頂き、骨壺・骨袋に納めてお返しいたします。



静岡県のJA葬祭
JA葬祭

TEL 0537-36-5110

お問い合わせ先：
ペット葬のアスモ

24時間365日対応

担当：暮らし支援部 生活葬祭課 葬祭係 (TEL 054-284-9898)

